

(1) かかりつけ医への情報提供希望確認書 回収結果

①令和4年度 あそびのひろば

	申込数	同意書提出	希望する	希望しない
1クール	64	64	35 (55%)	29 (45%)
2クール	70	70	44 (63%)	26 (37%)

②令和4年度 ぱすてるひろば

	申込数	終了者数	同意書提出	希望する	希望しない
	46	38	33	19 (58%)	14 (42%)
	54	44	40	27 (68%)	13 (32%)

(2) リソースブックの発行について

資料4-3参照

- ・ペアレントメンター事業において、ペアレントメンターが中心となり、発達の気になる子に特化したリソースブックを作成・編集・発行予定
- ・支援先や相談先、受けられる支援や当事者・保護者の体験談を掲載する予定

【評価・課題】

- ・かかりつけ医への情報提供希望確認書への希望するを増やす

【取り組み】

- ・かかりつけ医への情報提供希望確認書について、希望書から同意書に変更することについて、関係各課と調整を行う
- ・あそびのひろば・ぱすてるひろば受託事業者連絡会を開催し、情報共有を図る
  - ・あそびのひろば・ぱすてるひろば終了後、いこいの家へつなぐ場合には、受給者証が必要な通園なのか、受給者証が必要ではない親子教室なのか記載すること
  - ・かかりつけ医への情報提供同意確認書については、初回時に記入を依頼する
  - ・情報提供については「情報提供のメリット」※1と「様式2」※2の内容を提供することを説明する ※2 資料2-4
- ・発達早期支援事業について、医師会を通じ、市内の小児科医へ再度周知を行う
- ・リソースブックの掲載内容について、関係機関・関係各課へ確認を行う

※1 かかりつけ医への情報提供のメリット

情報提供を行うことで、外来で必要があれば療育を進めることがスムーズにできるようになる。

(乳幼児期は親御さんから発達について相談してくることが少ないため、医療側からチェックをしていかないといけないが、忙しい外来の中で、見逃してしまう可能性があるため。)